

2007年度 PSC 事業報告

特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター(PSC)

<事業期間>

2007年4月1日～2008年3月31日

<2007年度事業の概要>

1. 事業概要

2007年度は、PSC10周年記念事業プロジェクトを発足させ、次年度に向けての自主企画を練るとともに、新規事業として、CSR(企業の社会的責任)全国調査、“企業からNPOへ”インターンシップ&協働推進事業、信頼されるNPOづくり基盤整備セミナー事業、NPOアドバイザー設置事業、子育て支援企業認定基準にかかる調査&審査事業等に取り組んだ。これらの多くは、これまでのPSCの実績を背景にしたコンサルティング的な要素の強い事業だったのが特徴と言える。

さらに、「第5回パートナーシップ大賞」「第2回協働アイデアコンテスト」など、ひきつづき自主事業・協働事業として継続実施し、特に、「パートナーシップ大賞」は助成財団の後押しもあって、変則開催から毎年開始に踏み切ったのも、特筆されるべきであろう。

2. 成果と課題

1) 「パートナーシップ大賞」事業の到達点と新しい試み

2002年の開始から5年。「第5回パートナーシップ大賞」を終えた時点で、NPOと企業の協働事業の応募が124を数え、157のNPOと325の企業の応募となり、NPOの活動分野17のうちの16分野、また応募地域は全国30都道府県をカバーする事業になった。さらに、「CSRに効く!企業&NPO協働のコツ」の出版により、NPOとの協働がCSR推進に「効く」ことを、「パートナーシップ大賞」を通じて証明したことの意味は大きい。

また、日本財団の共催により初の東京での開催をはじめ、CSRプラス大賞等と併せた「CANPAN 3 Days」の一環としての位置づけにより、上場企業1700社への広報やWeb掲載なども新しい試みであった。ただ、東京開催は新しい層が獲得できた一方で、地元が多いPSC会員らの参加を困難にした点は否めない。今後の工夫が必要である。

2) コラボレーション事業の拡大とPSCのミッション

2007年度は、各事業の中で、コラボレーション事業の収入に占める割合が3割を超え、収入構造上最も大きな事業位置を占めた。本来協働推進をミッションとするPSCにとって、この分野の事業の拡大は大いに歓迎すべきで、その中身も財団との協働、経済団体との協働、国との協働、愛知県との協働、名古屋市社協との協働等々、極めて幅広い内容となっていることは注目すべきであろう。

なかでもNPOアドバイザーや信頼されるNPOづくりをめざした基盤整備セミナー、豊橋市をはじめとする職員研修、あるいは地域再生計画としても採択された企業からNPOへのインターンシップ&協働推進事業(内閣府委託)など、愛知県との協働が進んだ。また、名古屋市の子育て支援企業の認定基準づくりに係わったのもPSCならではの事業であり、まさに、NPOと行政、企業をつなぐ役割を果たしたと言える。

3) 運営上の課題

事業活動が順調に推移しているなかで、それを担うスタッフの質量が問われている。PSCのミッションをいかに推進すべきか、また中間支援はどうあるべきか等々、常に最先端の情報や知識を身につけ発揮できる環境と個々の姿勢や能力開発、そして事業に見合う人材確保が求められている。

I. センターの主な事業

1. 「パートナーシップ大賞」事業

事業実施者	主催：パートナーシップ・サポートセンター（PSC） 共催：日本財団CANPAN
目的・事業の背景	NPOと企業のパートナーシップを確立し活性化することにより、新しい市民社会・新しい公共の実現に寄与することを目的として、「第5回パートナーシップ大賞」の実施と「第4回パートナーシップ大賞」の事例集の出版を行なう。
成果	日本財団の共催申し入れにより初の東京での開催が実現。過去4回とは異なる層の参加が得られ、全国的に認知度を上げることができた。全国から27件の協働事例が集まり、質の向上も見られ、NPOと企業の協働への取り組みがますます盛んになってきた。また第4回事例集も「CSRに効く！－企業&NPO協働のコツ」として風媒社から出版した。
課題	初の東京開催で新しい層は獲得できたものの、参加者の大幅増には至らなかった。地元名古屋と、東京あるいは他都市での隔年開催を視野に入れつつ、協働の取り組みと広報活動の効率化を図ることが求められる。

1) 「第5回パートナーシップ大賞」の実施

昨年度の「第4回パートナーシップ大賞」に参加し感動した日本財団CANPANが、助成を申し入れてくれたことにより共催事業として実現した。

①募集

●募集期間：5月15日(火)～8月15日(水)

チラシを全国ボランティア・NPO支援センター等へ配布、日本NPO学会等全国各団体のメーリングリスト等での案内、CANPANおよびPSCのHPへの掲載等により周知を図った。

●応募事業(27件)：

- ・NPO ラジオ演出コーナー開設(新潟県)
- ・アップルCSC家庭教師養成講座事業(宮城県)
- ・温暖化防止・全国環境教育事業(東京都・大阪府)
- ・全ての命と共に生きる(島根県・大阪府)
- ・チャリティ古本市(東京都・千葉県)
- ・TaKaRa お米とお酒の学校(東京都・京都府)
- ・アイシン環境教育推進プログラム事業(愛知県)
- ・スマイルミュージックフェスティバル(京都府)
- ・ペットボトルキャップリサイクル(滋賀県)
- ・棚田穂算と農薬不使用米づくり(京都府)
- ・お米作り体験ツアー～無農薬のお米作りを体験してみよう～(兵庫県)
- ・NEC子育てママのためのIT講習(埼玉県・東京都)
- ・障がい者手作りノベルティの共同企画と活用事業(大阪府)
- ・Money Connection (東京都)
- ・コスモ石油エコカード基金学校の環境教育支援プロジェクト(東京都)
- ・点から線へ、線から面へのまちづくり事業(滋賀県)
- ・笑コ笑コもったいないプロジェクト(広島県)
- ・インターネットサイトを活用した難民問題コーナーの開設(東京都)
- ・「地域通貨オリオン」でまちづくり(福岡県)

- ・障がい者との協働による廃食油の回収・BDF 製造(鳥取県)
- ・障害市民活動支援融資制度 ゆめのたね(大阪府)
- ・みんな集まれ！トマト収穫祭(愛知県)
- ・子育てママもリフレッシュ！託児つきコンサート(愛知県)
- ・森と野鳥のデザイン提供(長野県)
- ・地域中小企業での若者チャレンジ支援事業(岐阜県他)
- ・地域で支えるもうひとつの実家 ばおばお親子ひろば(京都府)
- ・地元社会福祉施設と連携した社員食堂生ゴミのリサイクルへの取り組み(愛知県)

②P 賞運営委員会

	実施日	内容	参加者	実施場所
第1回	4月21日(土)	事業進行計画 (募集要項・チラシ・応募用紙の検討・日程・広報)	12名	池下ピアザ
第2回	6月23日(土)	進捗状況の報告 (応募状況・広報・協賛募集・今後のスケジュール)	13名	池下ピアザ
第3回	8月4日(土)	進捗状況の報告 (応募状況・評価シート・協賛募集・今後のスケジュール)	12名	池下ピアザ
第4回	8月25日(土)	調査委員会(応募書類の予備審査)	12名	池下ピアザ
第5回	10月20日(土)	現地調査にもとづき、調査委員による報告及びレベル合わせと評価の実施。	11名	池下ピアザ
第6回	12月9日(日)	パートナーシップ大賞の報告、当日運営についての振り返り、事例集執筆について、次年度に向けての意見交換。	7名	池下ピアザ
第7回	2008年 3月23日(日)	「第6回パートナーシップ大賞」についての検討、「第5回」の事例集の出版について他。	7名	池下ピアザ

※運営委員：面高俊文氏、河井孝仁氏、杉田教夫氏、高浦康有氏、小室達章氏、大驛潤氏、藤野正弘氏、浅野智恵美氏、筏井美枝子氏、日下部純子氏、事務局：岸田眞代、水野真由美、山田知代子、塩田和雄、石川佳樹

③第1次審査委員会

- 実施日：8月26日(日)池下ピアザ
- 内容：応募総数 27 事業の協働事業から、調査委員会および審査委員会の審議を経て、取材調査 12 事業を選考した。
- 参加者：計 18 名
審査委員 7 名
今田忠氏（市民社会研究所所長 前日本 NPO 学会会長）、
長谷川公彦氏（味の素㈱ お客様相談センター長）、
原田勝広氏（日本経済新聞社 編集委員）、
藤井絢子氏（滋賀県環境生活共同組合 理事長）、
小川雅由氏（こども環境活動支援協会）、
寺内昇氏（日本財団 情報グループ長）、
岸田眞代
調査委員&事務局 計 11 名
面高俊文氏、河井孝仁氏、高浦康有氏、小室達章氏、大驛潤氏、藤野正弘氏、浅野智恵美氏、

筏井美枝子氏、日下部純子氏、水野真由美、山田知代子

●調査事業と調査場所(12 事業) :

- ・アップル CSC 家庭教師養成講座事業(宮城県)
- ・温暖化防止・全国環境教育事業(東京都・大阪府)
- ・TaKaRa お米とお酒の学校(東京・京都)
- ・アイシン環境教育推進プログラム事業(愛知県)
- ・棚田穂算と農薬不使用米づくり(京都府)
- ・障がい者手作りノベルティの共同企画と活用事業(大阪府)
- ・点から線へ、線から面へのまちづくり事業(滋賀県)
- ・みんな集まれ！トマト収穫祭(愛知県)
- ・子育てママもリフレッシュ！託児つきコンサート(愛知県)
- ・地域中小企業での若者チャレンジ支援事業(岐阜県他)
- ・地域で支えるもうひとつの実家 ばおばお親子ひろば(京都府)
- ・地元社会福祉施設と連携した社員食堂生ゴミのリサイクルへの取り組み(愛知県)

④現地ヒアリング調査

●実施日：8月27日(月)～10月19日(金)

上記調査員+事務局12名が、各事業2名ずつ現地にて、NPO及び企業担当者からそれぞれヒアリング。それらをつき合わせ、事業ごとに評価シートにまとめた。

⑤第2次審査委員会

●実施日：10月21日(日)池下ピアザ

●内容：調査員の現地取材調査にもとづき、調査委員会および審査委員会を実施。

最終プレゼンテーションを行なう6事業を選出した。

●参加者：計17名

審査委員7名

今田忠氏、長谷川公彦氏、原田勝広氏、藤井絢子氏、小川雅由氏、寺内昇氏、岸田眞代

調査委員10名

面高俊文氏、杉田教夫氏、小室達章氏、大驛潤氏、藤野正弘氏、浅野智恵美氏、筏井美枝子氏、日下部純子氏、水野真由美、山田知代子

⑥最終選考および大賞発表と贈呈式

●実施日：11月10日(土)13:30～、日本財団ビル2F 大会議室(東京)

●内容：下記の6事業の最終プレゼンにより「パートナーシップ大賞グランプリ」を決定。

- ・アップル CSC 家庭教師養成講座事業(宮城県)
- ・温暖化防止・全国環境教育事業(東京都・大阪府)
- ・アイシン環境教育推進プログラム事業(愛知県)
- ・障がい者手作りノベルティの共同企画と活用事業(大阪府)
- ・点から線へ、線から面へのまちづくり事業(滋賀県)
- ・地域中小企業での若者チャレンジ支援事業(岐阜県他)

参加者による評価を実施するとともに、審査員による発表とコメントおよび盾と賞状・賞金(目録)の贈呈式を行なった。また、今回までの5回を通じて多大なる貢献をしてくれた日本電気(株)と近畿労働金庫に特別賞を授与した。なお、審査・集計の間、「第3回パートナ

ーシップ大賞」受賞団体によるミニ講演を実施した。

●第5回「パートナーシップ大賞グランプリ」

「点から線へ、線から面へのまちづくり事業」(滋賀県)
NPO：石坂線 21 駅の顔づくりグループ
企業：京阪電気鉄道株式会社／大津鉄道事業部

●特別賞：日本電気(株)、近畿労働金庫

●参加者：約 100 名

⑦ミニ講演「アカウミガメが結んだコラボレーション～第3回パートナーシップ大賞受賞その後～」

講師：馬塚丈司氏(NPO 法人サンクチュアリエヌピーオー理事長)

⑧懇親パーティの開催

「パートナーシップ大賞」受賞者や参加者による大交流会。受賞者や審査委員らによる事業や審査の裏話の紹介や、次なる協働に向けての力強いメッセージが伝えられ、貴重な交流体験となった。

●実施日：11月10日(土)17:30～、日本財団ビル(東京)

●参加者：約 60 名

⑨協賛企業の募集

「第5回パートナーシップ大賞」を支えるための協賛企業の募集を行なった。

●依頼文書送付等：6月～

◇協賛企業：三井住友海上火災保険(株)、三井住友海上スマイルハートクラブ、トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、(株)デンソーユニティサービス、シーキューブ(株)、(株)豊田自動織機、豊田通商(株)、(株)アバンセコーポレーション、(財)中部産業活性化センター

2) 事例集の出版

①「第4回パートナーシップ大賞」事例集「CSRに効く！企業&NPO協働のコツ」の出版。

●風媒社より2007年10月30日発行。

●内容：第I部 基礎知識編 つながり、広がるCSRのために

第II部 ケーススタディ編 企業とNPOはベストパートナー

第III部 資料編 データでみる第4回パートナーシップ大賞

②「第5回パートナーシップ大賞」の入賞事例を掲載した本の出版準備。

2. コラボレーション事業

1) 「CSR全国調査」<日本財団CANPANへの協力>

事業実施者	主催：日本財団CANPAN 協力：パートナーシップ・サポートセンター（PSC）
目的・事業の背景	日本財団CANPANコミュニティサイト主催の「第1回CSRプラス大賞」の実施方法に関して企画を提案。「市民が選ぶ」をキーワードに実施することになった。選考過程において、全国上位にランクインした企業のCSR調査（ヒアリング）を実施。「第1回CSRプラス大賞」調査に対する公正さや信頼性を高めることを目的とした。

成果	「第1回CSRプラス大賞」のCSR調査（ヒアリング）15社を担当。大賞を決定するための市民によるWEB投票の参考情報として、第三者レポートを提出。当初の目的を達成した。これら一連のCSR調査により、情報開示度だけでなく、企業のCSRへの取り組みを別の側面から評価することの可能性も見出すことができた点は大きい。
課題	CANPAN独自の評価項目については、今後改善の余地が大いにありと判断し、それらの視点も含め問題提起した。

「パートナーシップ大賞」の共催をきっかけとして、「CAPAN CSR プラス大賞」の実施に関する企画提案を行なった結果、数回にわたる会議を経て「第1回CSRプラス大賞」が実施されることになった。「CANPAN 3 Days」企画（CANPAN 独自のブログ大賞、CSR プラス大賞、パートナーシップ大賞を3日間連続で実施）のひとつとして実施。PSCは、15社のCSR調査を担当した。

①調査対象：CANPAN ホームページ「CSR プラス」における上位15社

（株）大和証券グループ本社、サッポロホールディングス（株）、凸版印刷（株）、日本電気（株）、旭硝子（株）、積水ハウス（株）、カシオ計算機（株）、関西電力（株）、マツダ（株）、大日本印刷（株）、ソニー（株）、河合楽器製作所（株）、三井物産（株）、三菱電機（株）、太平洋セメント（株）

②調査期間：2007年7～8月

③CSR調査員：10名（全国公募：北海道・岩手県・神奈川県・長野県、愛知県、滋賀県・京都府などから応募者あり）

面高俊文氏、小室達章氏、高井昭平氏、普久原涼太氏、藤野正弘氏、山本茂雄氏、胡桃環氏、浅野智恵美氏、筏井美枝子氏、日下部純子氏
事務局：岸田真代、山田知代子

④調査委員会の実施

	実施日	内容	参加者	実施場所
第1回	4月21日(土)	CSR調査に関する意見交換	12名	池下ピアザ
第2回	5月31日(木)	評価項目の見直し、調査の流れに関する意見交換	12名	池下ピアザ
第3回	6月23日(土)	候補企業の選出方法・ヒアリング(準備)に関する意見交換	13名	池下ピアザ
第4回	8月4日(土)	ヒアリング中間報告、企業レポート書き方に関する意見交換	12名	池下ピアザ
第5回	9月11日(火)	企業レポートの最終確認、ブログアップ作業	7名	池下ピアザ
第6回	12月9日(日)	CSRプラス大賞の報告、調査の振り返り、次年度に向けての意見交換	7名	池下ピアザ

⑤「CANPAN 第1回CSRプラス大賞・授賞式」打ち合わせと参加

日時：11月9日(金)12：30～17：30、日本財団ビル2F大会議室（懇親会 17：45～19：30）

◇CSRプラス大賞グランプリ：サッポロホールディングス株式会社

◇CSRプラス大賞：ソニー株式会社

2)「第2回企業&NPO協働アイデアコンテスト」<(財)中部産業活性化センター(CIAC)との協働事業>

事業実施者	主催：財団法人中部産業活性化センター（CIAC）、パートナーシップ・サポートセンター（PSC）
目的・事業の背景	昨年度に引き続き、CIACとPSCの協働事業として「第2回」を実施。中部5県のNPO

	(法人格の有無不問)から企業との協働アイデアを募集し、NPOと企業の協働の促進を図ることを目的とした。
成果	コンテストの開催について、新聞各紙に記事が掲載され、長野や静岡からの応募も得られ広報の成果があったといえる。交流会では受賞団体をはじめNPOと企業との交流が活発に行なわれた。また、フォローアップも「第1回」「第2回」について各1回ずつ実施した。
課題	広報は行なったものの、他基金の公募と時期が重なったこともあってか、アイデアの応募数が昨年とほぼ同数に留まった。時期及び対象や広報についての検討が今後必要と考えられる。最終選考会での発表団体のプレゼンテーションの技法について、事前の指導が必要との意見が多く、今後の課題である。

①「第2回 企業&NPO 協働アイデアコンテスト」および交流会

選考に残った NPO による、企業との協働事業に関するプレゼンテーションを実施し、審査員及び当日参加者の投票によるコンテストを開催した。なお、昨年同様、コンテスト終了後に交流会を行ない、そのなかで最終結果を発表、贈呈式を行なった。

●募集期間：2007年8月15日(水)～11月15日(木)

チラシ・ポスターを中部5県のNPO支援センター及び市町村役場NPO担当部署に配布。

●応募総数：11団体12アイデア(愛知県9団体、長野県1団体(2アイデア)、静岡県1団体)

●第一次審査：12月4日(火)(CIAC2名、PSC2名出席)

●最終選考会：2008年1月18日(金)、名古屋栄ビル12F大会議室

●発表・贈呈式(交流会)：同日、名古屋栄ビル12F中会議室

●最終選考会参加者数：88名

●審査結果

	事業名	NPO名	事業概要
最優秀賞	コールセンターを活用した、情報仲介業	NPO法人長野サマライズ・センター	企業のコールセンター機能を活用した聴覚障害者のための情報仲介システム
優秀賞	日系ブラジル人直接採用マッチングフェア	NPO法人交流ネット	地域の団体・企業等と、社員希望の若い世代の日系人中心の就職フェアの開催
特別賞	アレルギー認知UPキャンペーン	アレルギーっこのつどい「クリスマスローズ」	食物アレルギー及びその危険性を広めるための事業
奨励賞	交通事故被害者の包括的サポート事業	NPO人交通事故サポートプログラム	これまでの交通事故被害者支援で足りなかった要素を含めた支援事業の展開
	気象情報を活用した風水害の減災シミュレーションの開発事業	NPO法人ウェザーフロンティア東海	地域に密着した減災活動を高め、地域の防災力の向上を図るためのDIGの開発

②フォローアップ

「第1回」及び「第2回企業&NPO 協働アイデアコンテスト」受賞団体の受賞後の状況報告、相談、フォローアップを実施した。

●第1回受賞団体フォローアップ：2007年6月18日(月)1団体、20日(水)3団体

●第2回受賞団体フォローアップ：2008年3月21日(金)4団体

3) “企業からNPOへ” インターンシップ&協働推進事業(内閣府・愛知県)

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター(PSC) 事業委託者：内閣府(愛知県の地域再生計画としても採択)
-------	--

目的・事業の背景	「企業人から地域人へ」の流れをつくる事業として、前年度の「地域ボランティア促進事業」(文部科学省)などを継承し、今年度は企業のインターンシップ制度構築のためのモデル事業として行なった。
成果	アンケート結果に見られたように、トップ講座に参加した企業担当者にとっては協働への意識付けができ、ボランティア・インターンシップの体験者にはNPOに関する大きなインパクトを与えた。受け入れ側のNPOにとっては、マッチング時のアピールの方法や受け入れ体制等について考える機会となった。
課題	NPO対象講座、企業人対象講座への参加者のうち、企業人のインターンシップの体験者が予想より少なかった。講座受講からインターンへ結びついていくための工夫が必要。

2007年度内閣府の「市民活動団体等支援総合事業」(新規事業)として、本事業(=愛知県の「地域再生計画」)が内閣府より高い評価を得て採択された(全国第2位)。NPOと企業の協働推進のために、企業(トップや役員を含む)がNPOを理解し、ボランティアやインターンとしてNPOで活躍できるしくみを実現するため、以下の取り組みを実施した。

①推進委員会の開催

	実施日時	内容	参加者	実施場所
第1回	7月19日(木) 17:00~19:00	①推進委員への事業概要説明 ②事業スケジュールの決定	8名	池下ピアザ
第2回	8月21日(火) 17:00~19:00	①各講座内容、マッチング方法について ②講座参加者募集 (募集チラシ、リーフレットデザイン案検討を含む)	8名	池下ピアザ
第3回	9月21日(金) 17:00~19:00	①企業人ボランティア、インターン受け入れ講座(NPO対象講座)(9/8)の報告 ②企業人のためのインターン養成講座(9/29)の概要、参加者募集と申込状況 ③トップ・役員等のためのNPO&CSR講座(11/1)の概要、参加者募集と申込状況	8名	池下ピアザ
第4回	10月17日(火) 17:00~18:30	①企業人のためのインターン養成講座の報告 ②トップ・役員向けNPO&CSR講座の申込状況など ③インターンシップ報告会の開催日程、内容など	7名	池下ピアザ
第5回	12月13日(木) 17:00~19:00	①各推進委員による事業について総括・感想 ②事業報告書の内容についての検討	7名	池下ピアザ

※推進委員：10名

面高俊文氏、天野竹行氏、大須賀恵子氏、織田元樹氏、川上里美氏、小林宏之氏、鈴木則之氏、鈴木秀樹氏、滝川正子氏、原順子氏

※事務局：塩田和雅、岸田真代、他

②企業人ボランティア、インターン受け入れ講座(NPO対象講座)

NPOが企業人ボランティア、インターンを受け入れる際の留意点や実例などについての講座。

●実施日：9月8日(土)13:00~15:30、池下ピアザ

●内容：

◇第1講「ボランティア・インターン企業人受け入れ講座」

講師：織田元樹氏(NPO 法人ボラみみより情報局代表)

◇第2講「インターンシップ受け入れの実務と実例について」

講師：川上里美氏(NPO 法人福祉サポートセンターさわやか愛知理事長)

*参加団体(6 団体)：

(N)こころとまなびどっとこむ、(N)NPO かわせみ「かわせみ工房」、IT ネットなごや、
なごや東山森づくりの会、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン名古屋支部、(N)PSC

③企業人のためのインターン養成講座&マッチング

企業人がインターンとして NPO で活躍するための基礎的な講座等及びインターン先となる
NPO 団体とのマッチングの実施。

●実施日：9月29日(土)13:00~17:00、三井住友海上名古屋ビル大会議室

●内容：

◇第1講「NPO の基礎知識『NPO って何だろう?』」

講師：岸田眞代(PSC 代表理事)

◇第2講「NPO で働きませんか?~企業人から NPO 人になった私」

講師：杉田教夫氏(NPO 法人パブリックリソースセンタープログラムオフィサー)

*マッチング参加団体：11 団体

IT ネットなごや、(N)アジア車いす交流センター(WAFCA)、(財)アジア保健研修財団アジア
保健研修所(AHI)、(N)NPO かわせみ「かわせみ工房」、(N)交通事故サポートプログラム、
(N)こころとまなびどっとこむ、(N)福祉サポートセンターさわやか愛知、なごや東山の森づく
りの会、(N)パンドラの会、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン、(N)PSC
(資料配布のみ：(N)ミニデイサービスほっとポケット)

●参加者：41 名

④ボランティア、インターン活動(インターンシップ)

マッチングが成立した団体で、実際にボランティア、インターン活動を行なった。

●実施期間：2007年10月~11月(実習者により活動日数は異なる)

●実習者数：5名(4 団体で活動) ※1 名で複数の NPO で実習のケースあり

●受け入れ団体：IT ネットなごや、NPO 法人アジア車いす交流センター(WAFCA)、
NPO 法人パンドラの会、NPO 法人 PSC

⑤トップ・役員等のための NPO&CSR 講座

企業のトップ・役員、CSR 部署の担当者等が NPO と企業の協働事業が CSR 推進に効果的で
あることを理解してもらう講座。

●実施日：11月1日(木)14:00~16:00、名古屋栄ビル 12 階中会議室

●内容：「NPO と CSR、パートナーシップ大賞、インターンシップ制度について」

講師：岸田眞代(PSC 代表理事)

「NPO との協働が私たちにもたらしたもの」

講師：赤澤健一氏(大栄サービス株式会社代表取締役社長)

小川雅由氏(NPO 法人子ども環境活動支援協会(LEAF)事務局長)

●参加者：42 名

⑥インターンシップ報告会

インターンシップ体験者、受け入れ NPO、推進委員等からインターンシップについての報告

や今後に向けての意見交換を座談会形式で行なった。

●実施日：12月2日(日)14:00～16:30、池下ピアザ

●参加者：19名

4) 「地域協働促進事業」(愛知県)

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター（PSC） 事業委託者：愛知県
目的・事業の背景	市町村職員等を対象とした「NPOや協働に関する研修会」の実施を通じて市町村職員等のNPOに関する理解の向上を支援する。PSCは、「市民参加による政策づくり」および「協働の10ヵ条づくり」をテーマとして行なった。
成果	アンケート等から、実施4市の参加職員の7～9割が、NPOの基礎を理解し、協働の必要性と可能性を見つけ、市民参画による政策づくりを考えるという目標の達成、および意識変化を生じたと回答が得られた。
課題	実施時期が行政の予算編成時期とぶつかって、参加者数が若干少なかったことから、実施時期の選定は慎重に配慮する必要がある。また、こうした研修会の継続が市独自で行なえるかどうか今後の課題でもある。

昨年に引き続き一部改定して以下の2種の研修を愛知県に企画提案、愛知県より市町村に提示し、以下の研修を実施した。

●「～NPOとともに地域の可能性を拓く～“パートナーシップ(協働)への扉”研修」

●「政策づくりと市民・NPOとともに“市民参加の政策づくり”初級講座」

◇プレゼンテーション：6月15日(金)

◇現地打ち合せ：8月5日(日)豊田市、8月24日(金)豊橋市・蒲郡市、9月19日(水)北名古屋市

◇実施市町村：豊橋市：「パートナーシップ(協働)への扉」研修

10月23日(火)、参加者：34名(職員24名、NPO10名)

北名古屋市：「パートナーシップ(協働)への扉」研修

11月20日(火)、参加者：38名(職員33名、NPO5名)

豊田市：「市民参画の政策づくり」初級講座

12月12日(水)、参加者：36名(職員26名、市民(つなぎすと研修生)10名)

蒲郡市：「市民参加の政策づくり」初級講座

11月28日(水)、参加者：47名(職員45名、まちづくりセンタースタッフ2名)

5) 信頼されるNPOづくり基盤整備セミナー事業(愛知県)

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター（PSC） 事業委託者：愛知県
目的・事業の背景	信頼されるNPO法人になるために、各団体が、①課題を自ら発見し、問題点を抽出できる力をつけ、②誰が見ても読みやすい事業報告書を作成でき、③事業の成果や課題を振り返り、問題解決に積極的に取り組めるよう基礎セミナーを実施する。
成果	愛知県内3ヵ所で事業報告書作成セミナーを実施し、各団体の問題解決に積極的に取り組む方法や心構えをPSCの経験を踏まえて伝授したことによって、アンケートでも事業報告書作成について積極的な意識変容がみられた。参加者数計102名、意識の向上93%、

	満足度 84%とすべての目標を達成した。
課題	1日目の報告書づくりは全体で9割を超す満足度や意識変容を得られたが、2日目の会計は8割弱と若干低かったが、その理由は、参加者の受講前の会計理解度に差があったことが原因と思われる。今後は、参加者の理解度に応じたクラス分けなどの工夫を図ってきたい。

愛知県が、報告書を提出しないNPOやその貧弱な中身などを考慮して新規に提起した事業。信頼されるNPO法人になるための一つの方法として、事業報告書づくりの2日間の基礎セミナーを、3会場にて実施した。アンケートの結果、意識の変容があった人が93%ときわめて高い講座となった。

●募集：チラシを愛知県内のNPO法人(1080)へ配布、各種メーリングリストでの案内、あいちNPO交流プラザ・PSCのHP、PSCレポートへの掲載 他

●実施日：

<名古屋会場>12月20日(木)&2008年2月13日(水)あいちNPO交流プラザ

<半田会場>2008年1月30日(水)&3月5日(水)半田市民活動支援センター

<豊橋会場>12月18日(火)&2008年2月6日(水)豊橋市民センター・市民活動プラザ

●内容：

◇1日目「団体PRに使える事業報告書」とは

- ・講義「事業報告書の心構えとその書き方」
- ・ワークショップ「事業報告書作成上の問題点を明確にしよう！」

※講師：岸田眞代(PSC代表理事)

◇2日目「個別相談による課題解決」

- ・講義「会計報告とその書き方」
- ・個別相談および意見交換会

※講師：三品雅義氏(三品会計事務所・税理士)、岸田眞代(PSC代表理事)

●参加者：愛知県内のNPO法人職員等を対象。

102名(名古屋会場：45名、半田会場：31名、豊橋会場：26名)

6) 福祉のまちづくりリーダー養成講座&フォローアップ事業(名古屋市社会福祉協議会)

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター(PSC) 事業委託者：名古屋市社会福祉協議会
目的・事業の背景	名古屋市内で助け合い事業の実施を目指す人材の育成を目的とする。PSCの講座では、NPO初心者、企業人を対象に、①自分の夢を実現するには何が必要か、②NPOの代表者から現場の声を聴くことで、NPOの実態や今何が求められているのかを見つけることを目標とする。
成果	3期生目の今講座は20代から70代と幅広い年齢層であったが、世代を越えた交流がみられた。現在活動中の人は将来の展望を拓く方向へ、活動が初めての人は自分の想いを明確にするプロセスを経て、大きく成長できたと思われる。また、NPO法人代表などの話から社会活動についての理解も深まり、この講座の狙った成果があったと考える。
課題	フォローアップ事業では、相談実績が市社協から助成を受けた2件にとどまったことから、来年度はそれ以外へも広げるなどの改善が望まれる。

“福祉のまちづくりリーダー養成講座”(3年目)、および、そのフォローアップ(2年目)を実施した。今年度は、名古屋市社協らとのワークショップにより、講座内容の検討を行なった。

●ヒアリング：7月9日(月)

●講座内容検討ワークショップ：10月16日(木)14：00～池下ピアザ(参加者：12名)

●「福祉のまちづくりリーダー養成講座」

◇テーマ：あなたの夢を実現します。

	講座内容	実施日	講師
1	「出会い」 (NPO との出会い、仲間との出会い)	2008年 2月7日(木)	岸田真代(PSC 代表理事)
2	「自分を引き出す」 (自分自身の思いを浮かび上がらせる)	2月14日(木)	岸田真代
3	「自分を知る」 (自分を振り返り、強み弱みを知る)	2月21日(木)	岸田真代
4	「他を知る」 (NPO のさまざまな活動を知る)	2月28日(木)	丸山政子氏(まめっこ理事長) 川上里美氏(さわやか愛知理事長) 岡部扶美子氏(パンドラの会代表理事)
5	「まとめる」(想いを形にまとめていく)	3月6日(木)	岸田真代
6	個別指導 (自由参加)	3月13日(木)	岸田真代
7	「夢への実現に向けて」 (プレゼンテーション)	3月20日(木祝)	木村敏正氏(中小企業診断士、PSC 理事) 岸田真代

◇参加者：9名+市社協

●フォローアップ：「意見交換会」12月6日(木)18：00～池下ピアザ

「個別相談」2件(12月と2月に実施)、池下ピアザ

7) 「ボランティア・NPO セミナー」(春日井市)

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター (PSC) 事業委託者：春日井市
目的・事業の背景	春日井市および周辺市町村の一般市民を対象に、ボランティア活動、NPO (市民) 活動を行なう市民や、これから行おうとする市民が、積極性を持って活動する意識づくりの一助となることを目的とする。
成果	ボランティア講座では、春日井市内で活動するボランティア団体の話を直に聞いたり、グループディスカッションなどを通して、また、NPO 入門講座では、NPO に関する基礎理解講座や団体の話、NPO とボランティアの違いを聞くことで、参加者自身がNPO 活動をより身近なものとして理解することができたのではないと思われる。
課題	ボランティア講座、NPO 入門講座ともに、今後はさらに理解を深めるための継続的な学習や意識のレベルアップを実施するなど、ボランティア・NPO 人口の増加につなげていくことが求められる。

●ボランティア入門講座「はじめてみよう！ボランティア」

◇実施日：2008年3月1日(土)、ささえ愛センター

◇参加者：29名

◇実施内容：ボランティアをやってみたい一般市民に向けて、ボランティアの基礎理解に

関する講義に加えて、春日井市内で活動するボランティア団体代表者 3 名による活動紹介を行なったのち、グループディスカッションを行ない、聴講者からの質問や、双方の意見交換を行なった。

●NPO 入門講座「知ろう！語ろう！NPO」

◇実施日：2008 年 3 月 15 日(土)、ささえ愛センター

◇参加者：23 名

◇実施内容:NPO とは何か？一般市民に向けて、NPO の基礎理解に関する講義に加えて、春日井市内で活動する NPO 団体代表者 3 名による活動紹介を行なったのち、グループディスカッション行ない、聴講者からの質問や、双方の意見交換を行なった。

8) その他の活動

●「県民ボランティア活動促進事業」

実行委員として、“第 16 回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや”へ参加した。

◇実行委員会：2006 年 8 月 21 日(月)、12 月 6 日(水)、2007 年 1 月 17 日(水)、3 月 14 日(水)、5 月 23 日(水)、6 月 21 日(木)、7 月 18 日(水)、11 月 27 日(火)

◇実施日：2007 年 9 月 22 日(土)・23 日(日)、オアシス 21

◇内容：1 つのブースをもらい、NPO 案内所というコンセプトのもと PSC の事業を紹介した。

◇参加者：22 名（「NPO 起業・就労科」受講生 19 名＋事務局 3 名）

3. コーディネート事業

NPO と企業のコーディネートを中心に、以下の活動を実施する。

1) 地球環境基金事業

一昨年、昨年に引き続き、地球環境再生保全機構の委託を受け、地球環境市民大学校「環境 NGO と市民の集い」「環境 NGO のための組織マネジメント講座」「環境 NGO 活動発展のための組織運営講座」の 3 事業を実施した。

①「環境 NGO のための組織マネジメント講座」

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター（PSC） 事業委託者：独立行政法人環境再生保全機構 協力：地球の未来
目的・事業の背景	NPO/NGO は、団体のミッションにふさわしい形で組織を管理し、プロジェクトを企画・実行していくという組織力が求められている。目標設定や行動計画および情報の共有、評価と見直し、活動のための資源確保、スタッフの訓練など「団体の組織マネジメント力」の向上を目的として講座を開催する。
成果	アンケートを見ると、「講座が面白かった」「新しい視点を得られた」など、好評だったことから参加者にとって有意義な 2 日間となったと思われる。
課題	最も大きな課題としては集客が挙げられる。協力先として地元の NPO に委託したが、2 日目は 1 日目の半分に減少、広報活動および集客で課題を残す形となった。また、地球環境基金が作成したアンケートが、参加者にとって取り違えが起りやすい評価方法だったため、アンケート集計が困難であった。

環境団体の組織マネジメントの向上を狙いとした講座の実施。

●実施日：11 月 17 日(土)・18 日(日)県民ふれあい会館（岐阜市内）

●協力：NPO 法人地球の未来

●内容：

◇1 日目

・「NPO マネジメントは企業と何が違うのか」

講師：駒宮博男氏(NPO 法人地球の未来理事長)

・「NPO マネジメントにおける資源をどう確保するか」

講師：秋山英敏氏(セブーンイレブンみどりの基金理事)

・「ワークショップ」テーマ：人・金・情報のマネジメント能力を UP させるために

講師：秋山英敏氏、駒宮博男氏

◇2 日目

・「企業、NPO におけるリーダーシップ」(自己分析 200 問)

講師：岸田真代(PSC 代表理事)

・「総括・評価の重要性を認識しよう」

講師：市来圭氏(NPO 法人ぎふ NPO センター常務理事)

・「ワークショップ」テーマ：人を育てる・地域特性を生かす

講師：駒宮博男氏

●参加者：23 名

②「環境 NGO と市民の集い」

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター (PSC) 事業委託者：独立行政法人環境再生保全機構 協力：環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)
目的・事業の背景	環境問題に対する危機感の高まりにともない、それに呼応するように企業の社会的責任 (CSR) が問われてきている。これらの背景を踏まえて、「環境NGO/NPOの活動の理解促進」「市民・NGO/NPO・企業の協働の可能性を拡大」「市民・環境NGO/NPO・企業のネットワーク」の3つの成果を得ることを目的に集いを開催する。
成果	分科会形式で、中部環境NGO活動発表や、対話を重視したポスターセッションでは、「同じ悩みを持つNGOと出会うことができた」などの声が参加者の中から聞かれたことから、活動の理解促進とネットワーク形成に寄与することができた。また、基調講演では、環境エネルギー政策の重要性や協働の可能性を改めて認識できたのではないだろうか。アンケートでも、全体評価が「とてもよい」「よい」の評価がほとんどだったことから、充実した集いだったといえる。
課題	テーマなどで敷居の高さを感じたのかもしれないが、企業からの参加者が前年に比べて少なかった。また、基調講演の講師が時間に間に合わない事態になり、進行に若干支障をきたした。講師との事前の綿密な打ち合わせが必要である。

「企業との協働」をテーマにしたフォーラムの実施。

●協力：環境パートナーシップ CLUB(EPOC)

●実施日：12月14日(金)、ウィルあいち 大会議室他 (名古屋市内)

●内容：

◇基調講演「地域市民エネルギー事業～新しい協働のすがた」

講師：飯田哲也氏(NPO 法人環境エネルギー政策研究所代表)

◇ポスター形式活動発表(20 団体)

◇中部環境 NGO 活動発表(中部 15 助成団体発表)

◇企業の NPO との協働事例発表・全体意見交換会

企業コメンテーター：片岡憲彦氏(中部電力株)

山田厚志氏(株山田組)

環境 NGO コメンテーター：藤井清明氏(グリーンエネルギー推進機構)

滝田正子氏(なごや東山森づくりの会)

全体コーディネーター：岸田眞代(PSC 代表理事)

●参加者：77 名

③「環境 NGO 活動発展のための組織運営講座」

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター（PSC） 事業委託者：独立行政法人環境再生保全機構 協力：NPO 法人サンクチュアリエヌピーオー
目的・事業の背景	環境 NGO の持っている組織運営上及び協働事業実施の問題を明らかにし、その解決策を参加者が発見していくことにより、各団体の組織運営力を強化し、異なる主体との協働事業の実施への対応力を身につけることを目的に講座を開催する。
成果	講座内容・わかりやすさについては参加者から高い評価が得られた。
課題	2 日間連続の講座日程のため、参加者募集に苦労した。また、1 日の講座の時間が長く、2 日目には疲労感が大きかったとの参加者からの意見があった。集客、スケジュールとともに課題を残したが、今後は参加者の声を反映させた企画を立案していく必要がある。

昨年までの「環境コーディネーター養成講座」のリニューアル版として実施。

●協力：NPO 法人サンクチュアリエヌピーオー

●実施日：2008 年 1 月 26 日(土)・27 日(日) サンクチュアリネイチャーセンター（静岡県浜松市）

●内容：

◇1 日目

- ・「組織の構築、運営の方法」
- ・「環境 NGO の運営上の問題と解決法」
- ・「意見交換とまとめ」

講師：馬塚丈司氏（NPO 法人サンクチュアリエヌピーオー理事長）

◇2 日目

- ・「パートナーシップ協働事例」
- ・「協働事業実施時の問題点と解決法」
- ・「意見交換とまとめ」

講師：岸田眞代（PSC 代表理事）

●参加者：25 名

2) なごや環境大学

実行委員会事務局(次長)として 2006 年から継続実施。2 年目。

3) 「新春交流会」の開催

新しい年のはじめに、企業の社会活動の取り組みの発表を兼ねた NPO との交流の場を設けた。

昨年度に引き続き実施。

- 実施日：1月28日(月)18：00～20：30、池下ピアザ
- 参加者：19名(企業8社、NPO4団体他)
- 内容：企業会員によるスピーチ「2008年度社会貢献について」
(トヨタ自動車(株)、三井住友海上火災保険(株)、(株)デンソー、(株)アバンセコーポレーション)

4. コンサルティング事業

1) 三井住友海上「NPO 喫茶カフェアイリス」支援

事業実施者	NPO 喫茶の運営：スペース21 (PSC 会員) 場所の提供：三井住友海上 (PSC 会員) 協力支援：パートナーシップ・サポートセンター (PSC)
目的・事業の背景	1999 年から始まった三井住友海上名古屋ビル1 階のNPO 喫茶「カフェアイリス」の円滑な運営を目指して、月に1 回の定例運営会議内で相談にのるなどコンサルティングを行なう。
成果	定例運営会議へ継続的に出席し、三井住友海上とスペース21 がスムーズな運営会議ができるように取り組み、円滑な話し合いが行なわれた。
課題	ビル全体が禁煙の方向を打ち出したため、カフェアイリスも禁煙となった。その影響もあつてか集客が困難となっている。また、器具の老朽化によるトラブルも生じている。集客を目指して看板を新しく設置することになったが、今後は社内だけではなく社外に対する広報をどのようにしていくかが課題となっている。

スペース21、三井住友海上、PSC3 者による運営会議の実施。近隣のビジネスマン向けの新商品の開発など、運営改善を目指して検討中。

*毎月1回(25日定例)

4月25日(水)、6月25日(月)、7月25日(水)、9月27日(木)、10月25日(木)、11月26日(月)
2008年1月24日(木)、2008年2月25日(月)、2008年3月25日(火)

2) 「NPO アドバイザー設置事業」(愛知県委託事業)

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター (PSC) 事業委託者：愛知県
目的・事業の背景	あいちNPO交流プラザにNPOアドバイザーを設置し、県民及びNPOに対し、組織設立及び法人化をはじめとしたNPO全般の基本的事項に関するアドバイスを行なうことを通じて、広く社会活動への参加を促すとともに健全なNPO運営を支援することを目的とする。また、アドバイザーが行政の職場を体験することにより、NPO側の行政に対する理解の促進を図ることも目的としている。
成果	行政では対応しきれないような相談内容に対し、NPOの立場からソフト面のアドバイスなどが的確に行えた。利用者の満足度もほぼ100% (愛知県のアンケート結果より)、稼働率も前年を上回った。企業人からの相談やリピーターの増加、アドバイザーの指名が現れるなど、PSC担当による効果が徐々に出てきた。
課題	相談者にとっては深刻な悩みや時間を要する相談などもあり、時間内に相談記録のまとめまで終わらない場合が多々みられた。

今年度の新規事業。あいちNPO交流プラザで、週1回NPOに関する一般相談と、県内の市民

活動支援センターでの出張相談、セミナー等を無料で行なった。地域へのお出張相談を含み、年間計 40 回実施。

●一般相談（名古屋）

◇実施日：5月17日(木)、24日(木)、30日(水)、6月7日(木)、13日(水)、21日(木)、28日(木)、7月5日(木)、12日(木)、18日(水)、26日(木)、8月8日(水)、30日(木)、9月6日(木)、13日(木)、20日(木)、10月11日(木)、17日(水)、25日(木)、11月1日(木)、14日(水)、22日(木)、12月6日(木)、14日(金)、21日(金)、2008年1月10日(木)、16日(水)、21日(月)、2月18日(月)、28日(木)、3月3日(月)、12日(水)、20日(木)、24日(水)

●出張相談

◇小牧：8月2日(木)、10月6日(土)
◇岡崎北：8月23日(木)
◇岡崎南：11月29日(木)
◇蒲郡：2008年2月2日(土)
◇瀬戸：2008年2月7日(木)

●アドバイザー：水野真由美、岸田眞代、松本美千代

●セミナー

県内で活躍する NPO の代表らを招いてトークショー形式、あるいはパネルディスカッション形式のセミナーを行ない、その後聴講者からの質問や意見交換を行なった。

「第1回 NPO トークセミナー」

◇実施日：7月26日(木)13:00～あいち NPO 交流プラザ
◇講師：植松久芳氏(NPO 法人ウエザーフロンティア東海副理事長兼事務局長)
丸山政子氏(NPO 法人子育て支援の NPO まめっこ代表)
◇ファシリテーター：岸田眞代(PSC 代表理事)、司会：水野真由美(PSC)
◇参加者：27名

「第2回 NPO トークセミナー」

◇実施日：8月23日(木)岡崎北部地域交流センター(なごみん)
◇講師：中根藤夫氏 (NPO 法人ホロス健康センター副理事(岡崎支部・支部長))
伊藤一美氏(NPO 法人子ども&まちネット理事長)
◇ファシリテーター：水野真由美(PSC)
◇参加者：18名

「第3回 NPO トークセミナー」

◇実施日：10月6日(土)小牧市民活動センター
◇講師：虫明達夫氏(NPO 法人10人村理事長)
高橋弘恵氏(NPO 法人チャイルドラインあいち専務理事)
◇ファシリテーター：岸田眞代(PSC 代表理事)、司会：水野真由美(PSC)
◇参加者：24名

「第4回」NPO トークセミナー

◇実施日：11月29日(木)岡崎南部地域交流センター(よりなん)
◇講師：赤堀真貴子氏(NPO 法人のぞみ理事長)
岡部扶美子氏(NPO 法人パンドラの会理事長)
◇ファシリテーター：岸田眞代(PSC 代表理事)
◇参加者：15名

3) 「子育て支援企業認定基準にかかる調査&審査」事業(名古屋市)

事業実施者	事業委託者：名古屋市青少年局子ども未来部子ども事業調整室 調査&事務局補助：パートナーシップ・サポートセンター（PSC）
目的・事業の背景	名古屋市が今年度次世代育成のひとつとして、社会全体で子育てしやすいまちづくりを進めることを目的に「名古屋市子育て支援企業の認定制度」を創設した。その認定に必要な基準づくりを目的とした調査・表彰制度企業調査・事務局補助を行なった。
成果	準備会・審査会・企業ヒアリング等に、事務局の補助として参加し、また調査を行ない、報告書（子育て支援企業認定基準にかかる調査報告書、ヒアリング報告書）を提出するなど制度の推進に貢献した。（初年度は10社が認定され、そのうち4社が表彰となった。）
課題	次年度は業種や規模による調整方法など、さらに検討を深め、認定制度を進めていく必要がある。

今年度の新規事業として、名古屋市が子育て支援を実施している企業を認定するための評価基準の作成支援および企業調査等を実施。

- 名古屋市ヒアリング：7月9日(木)
- 各種資料・ホームページ等による企業調査：7～9月
- 準備会：第1回 9月3日(月)、審査委員対象に評価について説明
第2回 10月18日(木)、評価基準策定
- 審査会：第1回 12月27日(木)
第2回 2008年1月10日(木) 企業ヒアリング（10社）
第3回 1月17日(木)
- シンポジウムにて認定表彰：1月29日(火)

4) なごや環境大学 座談会企画構成

なごや環境大学ハンドブック改訂版用に掲載する座談会の企画&紙面構成を担当。2050年(もしくは30年後)の名古屋を語り、そのために何をすべきかを、松尾稔前名古屋大学学長をコーディネーターに専門家らに環境を中心に語ってもらいまとめた。

- 実施日：2008年1月15日(火)14:30～17:00、名古屋市役所 本庁舎4階 貴賓室
- 「環境首都なごや」をめざして（「なごや環境ハンドブック」(下巻)第4章-6 p287-305)

5) 企業向け CSR 相談&NPO 各種相談等

例年通り、企業等が取り組むCSRについて、NPOの立場からのコンサルティングを行ったり、行政やNPOに対する各種相談、CSR研修・ステークホルダー会議等の実施。

- ・東海ゴム：4月10日(火)、10月6日(土)、19日(金)、11月2日(金)、3月26日(水)
- ・UFJ総研：5月11日(金)、ヒアリング
- ・株式会社セラム：5月28日(月)、協働相談
- ・トヨタ自動車：7月2日(月)、社会貢献に関する相談
- ・名古屋市社協：7月9日(日)、今年度事業について
- ・ボラみみより情報局(協働相談)：7月9日(月)、事業相談
- ・豊橋市：7月11日(水)、指定管理者に関するEメール・電話相談
- ・とよた市民活動センター：7月12日(木)
- ・名古屋市：7月13日(金)、子ども青少年局
- ・尾張旭市：7月13日(金)、電話相談
- ・おやじの休日の会：申請書について

- ・交通事故サポートプログラム：7月17日(火)、運営相談
- ・中部電力：2月1日(金)、2月7日(木)、環境、ステークホルダー会議等
- ・その他多数

5. 教育啓発事業

1) 失業者向け委託訓練「NPO 起業・就労科」(愛知県)

事業実施者	企画運営：パートナーシップ・サポートセンター（PSC） 事業委託者：愛知県
目的・事業の背景	NPOの起業や既存のNPOへの就職、あるいは企業の社会貢献やCSRの担当などができるよう、NPOに関する法律やマネジメントを理解し、パソコンの習得やインターンシップ、事業計画づくりなどNPO等で働くための総合的な力を養成する。
成果	1日6時間、3ヵ月間の講座を受講することで、NPOの知識や理解が深まり、NPOで活躍できる人材が育ち、目的はほぼ達成できた。就職率については、2月末時点で努力目標を達成し、PSC会員企業の社会貢献担当者も誕生した。途中1名就職、修了者18名。
課題	就職の受け入れ先となるNPOがまだ少なく、受講生の就職希望先になり得ない点が、依然として課題である。

NPOについて理解し、NPOでの起業や就業、又は、企業の社会貢献分野での仕事に関心のある方等を対象にした、失業者向け委託訓練を実施した。2002年からの継続事業。

- 募集期間：5月28日(月)～6月8日(金)
- 説明会：5月28日(月)、31日(木)、6月4日(月)、7日(木)
- 入所選考：6月22日(金)、31名の応募があり28名より選考。
- 訓練期間：7月10日(火)～10月3日(水)の53日間(計333時間)、池下ピアザ他
- 受講生：19名(1名就職され、修了者は18名)
- カリキュラム：NPOの基礎知識、様々なNPOの紹介、NPO会計・労務、事業計画書の作成、パソコン研修、NPOへのインターンシップ 他

◇研修・インターン先：

(株)デンソー、(N)さわやか愛知、(N)スペース21、(N)パンドラの会、(N)交通事故サポートプログラム、(N)こころとまなびどっとこむ、(N)こどもの虐待防止ネットワーク・あいち(CAPNA)、(N)アジア日本相互交流センター(ICAN)、(N)PSC

◇就職率：2月末時点で52.6%(自営含む)

2) 株式会社 デンソーユニティサービス「ビジネスマナー&マインド研修」

7年目を迎えた「ビジネスマナー&マインド」研修の実施。

- 日程：7月5日(木)、9月12日(水)、10月11日(木)、11月7日(水)
- 講師：岸田眞代 (PSC 代表理事)
- 参加者：各回20名ずつ計80名

3) その他 講師派遣等 (下記講師括弧書き以外は岸田眞代)

- ・(株)シーテック：6月7日(木)45周年記念講演「活力ある職場集団をつくるには」
- ・北名古屋市教育委員会：6月28日(木)「老後を心豊かに過ごす」(吉武賢慧)
- ・(社)愛知県雇用能力開発協会：7月7日(土)「NPOとボランティア活動」生涯生活設計セミナー
1月26日(土)同上(山田知代子)

- ・おうみ未来塾：7月8日(日)「9期生フィールドワーク(コミュニケーション)」
12月1日(土)「個人と組織と地域プロデューサー」
- ・とよた市民活動センター：8月5日(日)「企業・行政とつながる市民力」
- ・名古屋市：9月4日(火)「NPOとの協働」(職員研修)
- ・ガールスカウト日本連盟：9月15日(土)「発想の転換～自分が変われば組織も成長」
- ・神奈川県コミュニティカレッジ：9月20日(木) NPO マネジメント講座「企業との協働」
- ・愛知地域建設コンサルタンツ協会：10月2日(火)「地球の未来を創造する」座談会
- ・中部運輸局：10月29日(月)第16回鉄道シンポジウム
「鉄道による交流の促進と地域再生」(パネリスト)
- ・小平市民活動ネットワーク：11月11日(日)
NPO フェスタ記念講演「市民と企業・行政との連携」
- ・北九州市：11月26日(月)「地域の力につなげる！市民・企業・行政のパートナーシップ」とは
- ・東北大学：12月10日(月) e-ラーニング(2コマ)
- ・千葉県：12月19日(水)「企業の社会貢献活動との連携について考えるセミナー」
- ・(株)インテージ：2008年1月31日(木)
「我が国の環境 NGO の現状と企業とのコラボレーションについて」
- ・香川県丸亀市：2月9日(土) 社会貢献活動フォーラムにて講演
- ・ピンクリボンネットワークングセミナー：2月15日(金)「ネットワークングで活動活性！！」
- ・高浜市(プロンプト)：2月23日(土)「まちづくり人材育成フォーラム」
- ・明治大学非営利・公共経営フォーラム：3月1日(土)「NPO と社会的企業 NPO の新しい戦略とは何か」(パネリスト)
- ・緑区ルネッサンスフォーラム：3月19日(水)座談会

6. 調査研究事業

1) 「企業の環境活動等への取り組みに関する調査・分析Ⅱ」(地球環境基金助成金事業)

事業実施者	企画実施：パートナーシップ・サポートセンター (PSC) 助成元：独立行政法人環境再生保全機構
目的・事業の背景	NPOの視点から企業の環境への取り組みや社会的責任について調査・分析し、その経年変化を把握する。そのなかでNPOが企業の環境・CSR活動に関わる意義と役割を明確にし、企業とNPOによる協働事業を展開するためのヒントの提供やNPOからの企業評価の視点を提起していくことを目指す。
成果	昨年に続いて100社のCSR報告書の分析を通して、大企業のCSR活動の現状を、またNPOの取材、および企業とNPOの意見交換会などを通して、企業とNPOの協働の可能性を明らかにすることができた。
課題	100社の報告書の発行時期がばらばらのためスケジュール調整が難しく、全体に実施が遅延した。今後は、それらを考慮に入れた上で進めていく必要がある。

昨年度に引き続き、CSR・環境報告書等の分析を通して、企業のCSR(社会責任)における取り組みを評価した。NPOへのヒアリング、企業とNPOの意見交換会なども実施。PSCシニアボランティアが調査に参加した。

●NPOヒアリング

- (N)中部リサイクル運動市民の会、(N)地球の未来、(N)上田広域市民事業ネットワーク
- (N)サンクチュアリエヌピーオー、(N)環境文明21

- 「環境 NGO と市民の集い」にて中間報告：12月14日（金）
- 企業と NPO の意見交換会：3月4日（火）：池下ピアザ
 - ◇参加企業：(株)山田組、東海ゴム(株)
 - ◇参加 NPO：NPO 法人中部リサイクル運動市民の会、NPO 法人グリーンエネルギー推進機構
NPO 法人ウェザーフロンティア東海
- 報告書の作成と配布：報告書は4月初旬に完成。

7. 情報受発信事業

事業実施者	パートナーシップ・サポートセンター（PSC）
目的・事業の背景	主としてPSC会員向けの情報誌を編集・発行するとともに、広範な関係者に対して各種の情報を受発信することを目的とする。
成果	「PSC Report」を例年どおり滞りなく発行することにより、最新のホットな情報をPSC会員に対して発信することができた。
課題	HPの更新は頻繁に行なえたが、ポータルサイトはサーバー会社の対応の悪さにより、再開が進まない状況。HPとの一体化ができるよう対応を求めていく必要がある。

①「PSC Report」(奇数月1日発行)

Vol	発行日	内 容
53	2007年 5月1日	「第5回パートナーシップ大賞」募集開始、CSR アワードに向け CSR 調査を始動！、第1回 企業&NPO 協働アイデアコンテスト報告他
54	7月1日	2007年度 PSC 定時総会報告、「愛知県・NPO アドバイザー『一般相談』」開始、日本財団 CANPAN&PSC 協働事業「CSR 全国調査」：CSR 委員会報告他
55	9月1日	2007年度「NPO 起業・就労講座」スタート！、「CSR プラス大賞」CSR 調査報告、「第16回ボランティア・フェスティバルあいち・なごや」報告他
56	11月1日	「第5回パートナーシップ大賞」最終プレゼン団体決定、「NPO トークセミナー in 小牧」開催、2007年度「NPO 企業・就労講座」修了式報告他
57	2008年 1月1日	「第5回パートナーシップ大賞」発表贈呈式報告、「信頼される NPO 「事業報告書」作成セミナー」を開催、「環境 NGO と市民の集い」開催！他
58	3月1日	企業&NPO 協働アイデアコンテスト報告、地球環境市民大学校「組織運営講座」開催！、「福祉のまちづくりリーダー養成講座」開催！他

②ホームページ・ポータルサイトの運営、メーリングリスト（ML）の活用

新着情報の更新、「PSC Report」の WEB 公開、ML による会員向けの情報発信他

③各種報告書・ポスター・リーフレットの発行

- ・「CSR に効く！ー企業&NPO 協働のコツ」風媒社(事例報告集)
- ・「企業の環境 CSR 活動への取り組みに関する調査・分析Ⅱ」(報告書)
- ・「福祉のまちづくりリーダー養成”ジャンプアップ”講座」(報告書)
- ・「福祉のまちづくりリーダー養成”フォローアップ”事業」(報告書)
- ・『「企業人」から「地域人」へ』(リーフレット)
- ・その他多数

8. 提言活動その他の事業

1) 行政各種委員としての提言活動

- ・なごや環境大学実行委員：【5月21日(月)総会】
経営戦略チーム：4月24日(火)、6月29日(金)、7月20日(金)、10月22日(月)、
12月7日(金)、12月27日(木)、2月7日(木)、3月11日(火)
- ・淡海ネットワークセンター「未来塾」運営委員：
入塾審査：4月26日(木)、第9期生入塾式：6月10日(日)、
9期生研修(コミュニケーション)：7月8日(日)、「中間発表会」：10月7日(土)
9期生研修(個人と組織とプロデューサー)：12月1日(土)、卒塾式：3月2日(日)
運営委員会：2008年1月25日(金)他
- ・蒲郡市「市民企画公募まちづくり事業助成金」：5月13日(日)、安井和史氏
- ・千種区社会福祉協議会「ボランティア・NPO 応援助成」審査員：6月23日(土)石川佳樹
- ・緑区東部方面地域センター等整備事業提案競技審査委員会(新規)：11月12日(月)、2月22日、
3月18日
- ・名古屋市公共事業評価監視委員：7月31日(火)、8月27日(月)、9月7日(金)、21日(金)、
10月26日(金)、11月21日(水)
- ・名古屋市緑化基金委員：2月14日(木)
- ・この他、名古屋市交通問題調査会委員(継続)

2) 各団体との連携

- ・日本NPO学会：理事(岸田代表理事)
「CSR研究会」：4月14日(土)、5月26日(土)(講師)、6月9日(土)、11月3日(土)
「新NPO辞典プロジェクト」：6月9日(土)、11月3日(土)
「日本NPO学会第10回年次大会」(中央大学)：3月15日(土)発表、理事会、16日(日)総会
- ・日本NPOセンター：「NPO支援センター初任者研修会」：6月1日(金)～2日(土)2名参加
「第6回民間NPO支援センター・将来を展望する会」：12月3日(月)
「NPOメッセ in 関西 2007 市民活動フォーラム」：12月3日(月)
- ・あいち子どもNPOセンター：理事(岸田)
- ・なごや東山森づくりの会：運営委員(岸田) 他
- ・ウィルあいち(指定管理者の一員として)：
6月1日(金)愛知県とコングレ・愛知グループによる懇談、これを受けてコングレと協議。
ウィルあいち運営会議：10月24日(水)

3) その他

その他、行政の各種委託事業への企画コンペへの参加や助成金申請等にチャレンジした。

9. 10周年記念事業プロジェクト

事業実施者	パートナーシップ・サポートセンター (PSC)
目的・事業の背景	PSC創立10周年を記念しての事業について検討する。
成果	PSC10周年に向けた準備委員会をほぼ毎月1回開催し、10周年記念事業プロジェクトの内容について話し合いを重ね、ほぼ内容を決定した。
課題	各事業にかかる費用をどのように捻出するかが課題。

1) 10周年プロジェクト委員会

2008年7月17日のPSC設立10周年に向けての準備委員会の開催。

	実施日時	内容	参加者	実施場所
--	------	----	-----	------

第1回	7月22日(日)13:00～	全体の進め方についての検討、意見交換	8名	池下ピアザ
第2回	8月27日(月)18:00～	記念事業や記念品についての意見交換	7名	池下ピアザ
第3回	10月10日(水)18:00～	記念事業とモリコロ基金についての意見交換	9名	池下ピアザ
第4回	11月15日(木)18:00～	NPO リーダー塾、記念フォーラム、記念誌、記念品、広報についての意見交換	6名	池下ピアザ
第5回	1月12日(土)13:00～	新春合宿参加者が10周年記念4事業に分かれてのワークショップ	14名	ウィルあいち
第6回	2月20日(水)18:00～	記念フォーラム、記念品、記念誌についての意見交換(記念フォーラム中心)	7名	池下ピアザ
第7回	3月25日(火)18:00～	記念フォーラムの参加費等内容、10周年記念ロゴ、記念事業(あいち未来塾)の塾長、実行委員などの候補者等についての意見交換	7名	池下ピアザ

*プロジェクト委員&事務局

面高俊文氏、相羽博文氏、安井和史氏、鷺見修氏、柏木はるみ氏、水谷久美氏、岡部扶美子氏、宮下太陽氏/岸田眞代、塩田和雄、山田知代子、石川佳樹、中條宏子

2) 記念事業や記念品についての検討

①PSC10周年記念フォーラム

NPOと企業の協働“これまで”・“これから”(仮題)

日時:2008年7月12日(土)

会場:ウィルあいち大会議室

内容(案):(1)PSC10周年記念式典:来賓挨拶、功労者表彰

(2)基調講演 講師:中京大学大学院教授(元東海総研代表取締役)水谷研治氏

(3)P賞グランプリ受賞者によるシンポジウム

パネリスト:1~5回までのP賞グランプリ受賞者

(4)交流会

②あいち未来塾・地域プロデューサー形成事業(あいちモリコロ基金助成事業・大規模活動)

市民(企業人や行政担当者も含む)を対象に、1期2年間の講座を行ない、「地域プロデューサー」が育つ塾を企画運営する。

<あいちモリコロ基金助成決定まで>

10月 企画申請 12月 第一次選考通過

2月23日(土) 最終プレゼンテーション、3月18日(火) 助成決定

<塾長・運営委員>

●塾長 水谷研治氏(東京福祉大学大学院教授、元東海総研代表取締役社長)

●運営委員

堀越哲美氏(名古屋工業大学大学院教授)、安藤明夫氏(中日新聞社編集局生活部次長)、服部則仁氏(医療法人愛知集団検診協会会長)、松下典子氏(NPO法人地域福祉サポートちた代表理事)、鷺見修氏(名古屋市子ども青少年局)

③記念誌

PSCの10年間のあゆみをまとめた冊子を作成し、フォーラム開催時に配布することになった。

④記念品

10周年記念PSCロゴマーク入りクリアファイルを作成の予定。

Ⅱ. センターの運営に関する活動

1. 2007年度 定時総会

●実施日：6月16日(土)13:30～あいちNPO交流プラザ 会議室A

●内容：2006年度事業報告および収支決算、

2007年度事業計画(案)および収支予算(案)について審議。

<正会員総数：149名、出席者数：85名(うち委任状53名)>

◇CSR講演会：定時総会に合わせ、講演会を実施。36名の参加。

「中部電力CSRの取り組みについて」

講師：鈴木則之氏(中部電力株経営戦略CSR推進グループ)

◇懇親会：CSR講演会終了後、近くのお店にて開催。23名の参加。

2. 理事会

回数	実地日時	内容	出席者	実施場所
第1回	6月5日(火)	2006年度事業報告及び決算報告 2007年度事業及び予算案について	13人 (うち委任状3名)	池下ピアザ
第2回	6月16日(土)	2006年度事業報告及び決算報告 2007年度事業及び予算案の最終チェック	14人 (うち委任状7名)	あいちNPO交流プラザ 会議室A
第3回	10月30日(火)	2007年度事業中間報告 2007年度収支決算中間報告	13人 (うち委任状3名)	池下ピアザ
第4回	1月11日(金) ～12日(土)	2007年度事業中間報告 2007年度収支決算中間報告 2008年度事業及び中期ビジョンの検討 他	11人 (うち委任状4名)	ウィルあいち 会議室6 創作スタジオ
第5回	3月28日(金)	2007年度事業中間報告 2007年度収支決算中間報告 2008年度事業計画(案)	11人 (うち委任状4名)	池下ピアザ

3. プロジェクト委員会等

パートナーシップ大賞&CSR運営委員会、10周年記念事業プロジェクト委員会を軸に、事務局とともに事業及び組織の運営を図った。(センター事業内項目に詳細あり)

4. シニアボランティア会議

●定例会・・・4月19日(木)、5月9日(水)、5月17日(木)、6月7日(木)、6月29日(金)、7月26日(木)、8月23日(木)、9月20日(木)、10月25日(木)、12月20日(木)、2008年1月17日(木)、2月21日(木)、3月13日(木)、計13回。

●参加者・・・高下太郎氏、吉武賢慧氏、中野道宏氏、福谷芳浩氏、日比野勝氏、加藤元彦氏、戸成司郎氏他、PSC事務局

5. 事務局会議

毎週月曜日11:00～を基本に、チャットの使用により事務局会議を定例開催した。

6. 年次報告書発行

2006 - 2007年次報告書の発行(6月)。